

貯法
遮光・室温保存
使用期限
外箱に表示（3年）

抗トリコモナス剤

日本標準商品分類番号
872529

※※ **チニダゾール錠200mg「F」** ※※

チニダゾール錠
TINIDAZOLE vaginal tablets

承認番号	22500AMX01302
薬価収載	2013年12月
販売開始	1992年7月

※指定医薬品の廃止に伴う改訂

【禁忌（次の患者には使用しないこと）】
チニダゾールに対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

販売名	チニダゾール錠200mg「F」	
有効成分	日局 チニダゾール	
含量（1錠中）	200mg	
添加物	乳糖水和物 硫酸カルシウム トウモロコシデンプン アルギン酸 ステアリン酸マグネシウム	
色・剤形	両面がくぼんでいる白色の円形素錠	
外形		
大きさ	直径	15.3mm
	厚さ	4.9mm
	質量	1030mg
識別コード	FJ10	

【効能・効果】

トリコモナス膣炎

【用法・用量】

チニダゾールとして、通常成人1クールとして1日1回200mgを7日間膣内に挿入する。
投薬終了後、膣トリコモナスを検出した場合は、投薬終了時より少なくとも1週間ぐらゐの間隔を置いて再投与する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
泌尿・生殖器	治療実施中にCandida albicansが出現

2. 小児等への使用

小児に対する安全性は確立していない。

※※ **3. 適用上の注意**

本剤はPTPシートから取り出して膣内のみ使用するよう指導すること。

【薬効薬理】¹⁾²⁾

- 膣トリコモナスに対し、殺虫的に作用する。
- チニダゾールのTrichomonas vaginalisに対する最小発育阻止濃度は0.13~1.0 µg/mLであり、最小殺虫濃度は1.0 µg/mL（48時間）であり、4.0 µg/mLでは6時間

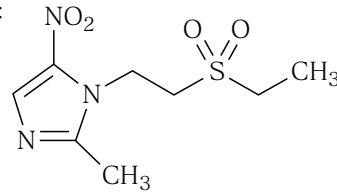
で完全な殺虫効果を示した。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：チニダゾール (Tinidazole)

化学名：1-[2-(Ethylsulfonyl)ethyl]-2-methyl-5-nitro-1H-imidazole

構造式：



分子式：C₈H₁₃N₃O₄S

分子量：247.27

性状：淡黄色の結晶性の粉末である。

無水酢酸又はアセトンにやや溶けやすく、メタノールにやや溶けにくく、エタノール(99.5)に溶けにくく、水に極めて溶けにくい。

融点：125~129℃

【取扱い上の注意】

- 小児の手のとどかない所に保管するよう指導すること。
- 安定性試験**
最終包装製品を用いた加速試験（40±1℃、相対湿度75±5%、遮光、6ヵ月）の結果、チニダゾール錠200mg「F」は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。³⁾

※※ **【包装】**

60錠 (PTP)

【主要文献】

- 1)浅見敬三ほか：寄生虫学雑誌，21(5)，349,1972
- 2)尾崎文雄ほか：寄生虫学雑誌，21(5)，355,1972
- 3)富士製薬工業株式会社 社内資料（安定性試験）

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。
富士製薬工業株式会社 富山工場 学術情報課
〒939-3515 富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地
(TEL) 076-478-0032
(FAX) 076-478-0336

製造販売元

 **富士製薬工業株式会社**
富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地